

(案)

八代市・氷川町・芦北町 定住自立圏共生ビジョン



熊本県八代市

令和8年2月

目 次

1 定住自立圏及び圏域を形成する市町の名称	
(1) 定住自立圏の名称	2
(2) 圏域を形成する市町の名称	2
2 圏域の概要	3
3 圏域の将来像	4
4 持続可能な定住自立圏の実現に向けて	6
5 人口の将来展望	7
6 定住自立圏共生ビジョンの期間	8
7 定住自立圏形成協定に基づき推進する具体的取組	8
具体的取組内容の体系図	9
共生ビジョンに掲げる取組と関連する「SDGsの17のゴール」	10
(1) 生活機能の強化に係る政策分野	12
ア 医療	
イ 福祉	
ウ 教育	
エ 産業振興	
オ その他	
(2) 結びつきやネットワークの強化に係る政策分野	25
ア 地域公共交通	
イ 道路等の交通インフラの整備	
ウ 地産地消の推進	
エ 交流・移住促進	
オ 観光ネットワークの連携・強化	
(3) 圏域マネジメント能力の強化に係る政策分野	32
ア 中心市における外部からの行政及び民間人の確保	

1 定住自立圏及び圏域を形成する市町の名称

(1) 定住自立圏の名称

「八代市・氷川町・芦北町定住自立圏」

(2) 圏域を形成する市町の名称

中心市：八代市

近隣町：氷川町、芦北町



八代市



氷川町



芦北町

2 圏域の概要

(1) 八代市の概要

八代市は、平成 17 年 8 月 1 日、旧八代市と旧八代郡内の千丁町・鏡町・坂本村・東陽村・泉村の 1 市 2 町 3 村が合併し誕生しました。(人口は、令和 7 年 3 月末現在、119,250 人)

熊本市の南約 40 k m に位置し、東西約 50 k m、南北約 30 k m、面積約 680 k m²を有し、全面積の約 70%が山間地、約 30%が平野部で形成されています。

日本三急流の一つである球磨川や氷川の両水系で形成された豊かな土地が広がり、扇状地や三角州を中心とした沖積平野が形成され、全国有数の農業生産地が広がっています。また、臨海部には県内有数の工業都市、市の中心部には商業施設が多く立地しています。

(2) 氷川町の概要

氷川町は、平成 17 年 10 月 1 日に竜北町と宮原町の 2 町が合併し「氷川町」として誕生しました。(人口は、令和 7 年 3 月末現在、10,632 人)

熊本市の南約 30 k m に位置し、北は宇城市、南は八代市に接しています。町の中央部を東から西へ 2 級河川氷川が流れ、南北に走る国道 3 号を境に、東部に山林、丘陵地帯、西部には「西の八郎潟」として全国に名を馳せる不知火干拓をはじめとした平坦地帯が広がる総面積 33.3 k m²の町です。

基幹産業は農業であり、平野部では、もち米、苺、トマトなどの施設園芸やい草、キャベツなどが主に栽培されており、山間部では、梨や晩白柚などの果樹が主に栽培されています。また、町の中心市街地には商業施設が立地しています。

(3) 芦北町の概要

芦北町は、平成 17 年 1 月 1 日に旧田浦町と旧芦北町の 2 町が合併し「芦北町」として誕生しました。(人口は、令和 7 年 3 月末現在 14,742 人)

熊本市の南約 70 km に位置し、北を八代市、南を水俣市・津奈木町、東は球磨川を境とし球磨村に接しています。東西 16.6 k m、南北 25.4 k m、総面積 234.01 k m²を有していますが、町土の 8 割を山林が占めていることから平地が少なく、田浦、佐敷、湯浦の市街地に宅地や人口、商業施設などが集積しており、中山間地域においては、温暖な気候を生かした甘夏、デコポンなどの柑橘栽培が行なわれています。

交通面では地域の東部を肥薩線、西部を国道 3 号と肥薩おれんじ鉄道が並行しており、南九州西回り自動車では、田浦インターチェンジ、芦北インターチェンジが供用されています。

3 圏域の将来像

「定住」のための必要な諸機能を確保するとともに、「自立」のための経済基盤や地域の誇りを培い、全体として魅力あふれる圏域を形成していくことが定住自立圏構想の基本的な考え方です。

この構想に基づき、本圏域の目指す将来像は、生活機能の強化をはじめ、結びつきやネットワークの強化、圏域マネジメント能力の強化への取組を進めることで、「生活圏域を共にする近隣自治体と互いの地域特性を活かした役割分担を図りながら、住民が安心して豊かな暮らしを続けられるよう圏域全体の活性化」を目指します。

(1) 生活機能の強化に係る政策分野

① 医療

子どもからお年寄りまで、いきいきと健康的な日常生活を送ることができるように、地域医療体制の充実や医療・介護の連携を図ります。

② 福祉

安心して子育てができるように、また、高齢者や障がい者が住み慣れた地域で自立した生活続けることができるよう、子育て支援の推進と高齢者や障がい者への支援の充実を図ります。

③ 教育

未来を担う子どもが確かな学力と生きる力を身につけることができるように、学校と家庭や地域が連携して、学校教育の充実と子どもの健全な育成を図るとともに、スポーツ・文化活動の充実を図ります。

④ 産業振興

圏域内の食関連事業者間のネットワークを広げ、輸出促進など新たなビジネスチャンスの創設や販路の拡大に努めるとともに、圏域への企業誘致促進や若年層への就労支援を強化するなど、くまもと県南フードバレー構想や農林水産業、商工業などの地域産業の振興を図ります。

⑤ 住民生活に関係する施設等の連携

圏域住民の生活が安全・安心に営まれるように、多文化共生社会の推進や地域防災力の強化、広域的なごみ減量化の取組など、住民生活に関係する体制の強化や施設等の連携を図ります。

(2) 結びつきやネットワークの強化に係る政策分野

①地域公共交通

地域住民の移動手段を確保し、誰もが安心して暮らせる地域社会の実現を目指して、住民にとって便利で快適な公共交通の構築に努めます。

②道路等の交通インフラの整備

圏域内外の交流を促進し、地域の活性化につなげるため、主要な幹線道路や圏域内の拠点施設などを結ぶ道路の整備促進を図ります。

③地産地消の推進

くまもと県南フードバレー構想の促進と生産者や消費者等の地域連携による地産地消の拡大を図ります。

④交流・移住促進

都市圏における地域のPRや地域資源を活かしたツーリズム等を推進し、交流人口や移住者の拡大を図ります。また、結婚を望む人に出会いの機会の提供やマッチングサポートを行うなど結婚支援に取り組みます。

⑤観光ネットワークの連携・強化

多様で魅力あふれる観光地づくりの実現のために、圏域内の観光情報等を共有し、圏域の魅力を発信するなど、観光ネットワークの連携・強化を図ります。

(3) 圏域マネジメント能力の強化に係る政策分野

①中心市等における外部からの行政及び民間人の確保

個性豊かで活力に満ちた地域社会を実現するため、国や県との人事交流や外部からの民間人の確保、人材育成、ICTの利活用などに取り組みます。

4 持続可能な定住自立圏の実現に向けて

国の地方創生に関する総合戦略（令和7年12月23日閣議決定）においては、SDGsを起点とした地方創生取組の発展が掲げられています。当圏域の持続的な発展を図るために、構成市町各々がSDGsを原動力として、17のゴールの達成に寄与する取組を推進しなければなりません。

圏域に係わる全ての関係者のパートナーシップで、経済・社会・環境の三側面の統合的な取組を進める必要があります。「八代市・氷川町・芦北町定住自立圏共生ビジョン」の目指す姿とSDGsの理念を融合し、その達成に向け関連する施策を展開していきます。



- | | |
|----------------------|---------------------|
| ① 貧困をなくそう | ⑩ 人や国の不平等をなくそう |
| ② 飢餓をゼロに | ⑪ 住み続けられるまちづくりを |
| ③ すべての人に健康と福祉を | ⑫ つくる責任つかう責任 |
| ④ 質の高い教育をみんなに | ⑬ 気候変動に具体的な対策を |
| ⑤ ジェンダー平等を実現しよう | ⑭ 海の豊かさを守ろう |
| ⑥ 安全な水とトイレを世界中に | ⑮ 陸の豊かさも守ろう |
| ⑦ エネルギーをみんなにそしてクリーンに | ⑯ 平和と公正をすべての人に |
| ⑧ 働きがいも経済成長も | ⑰ パートナーシップで目標を達成しよう |
| ⑨ 産業と技術革新の基盤をつくろう | |

5 人口の将来展望

圏域の将来像を踏まえ、連携して取組を推進することで目指す中長期的な将来の人口及び高齢化率を以下のとおり定めます。

（１）将来推計人口及び将来展望人口

令和５年１２月に公表された国立社会保障・人口問題研究所の推計結果（以下、「社人研推計」とする。）によると、このまま推移した場合、令和２７年の本圏域人口は、平成２７年と比較して、49,014人（31.2％）減少するとされています。

各市町では、「まち・ひと・しごと創生総合戦略」を作成し、人口減少対策に関する各種施策を継続的に実施していくことにより、人口減少のスピードを緩和し、将来展望人口は、将来推計人口と比較し4,833人増加の112,946人を目標としています。

表１ 将来推計人口及び将来展望人口（単位：人）

		平成 27 年 2015 年	令和 2 年 2020 年	令和 12 年 2030 年	令和 27 年 2045 年
八代市	推計人口	127,472	123,067	111,165	92,810
	展望人口	127,472	123,067	112,100	96,600
氷川町	推計人口	11,994	11,094	9,569	7,291
	展望人口	11,994	11,094	10,075	8,266
芦北町	推計人口	17,661	15,681	11,994	8,012
	展望人口	17,661	15,681	11,995	8,080
圏域合計	推計人口	157,127	149,842	132,728	108,113
	展望人口	157,127	149,842	134,170	112,946

令和２年以前：国勢調査

令和１２年以降：推計人口；国立社会保障・人口問題研究所「日本の市区町村別将来推計人口」（令和５年１２月推計）

展望人口；各市町人口ビジョン

（２）高齢化率の将来推計及び将来展望

社人研推計によると、令和２７年の本圏域の高齢化率は平成２７年と比較して9.2ポイント上昇するとされています。各市町の人口減少対策により、圏域の将来展望高齢化率は将来推計高齢化率と比べ、2.1ポイント低下し、40.1％を目標としています。

表 2 高齢化率の将来推計及び将来展望

		平成 27 年 2015 年	令和 2 年 2020 年	令和 12 年 2030 年	令和 27 年 2045 年
八代市	高齢化率（推計 人口ベース）	31.8%	34.5%	37.3%	40.5%
	高齢化率（展望 人口ベース）	31.8%	34.5%	37.0%	38.9%
氷川町	高齢化率（推計 人口ベース）	34.8%	39.7%	44.7%	50.3%
	高齢化率（展望 人口ベース）	34.8%	39.7%	41.3%	40.7%
芦北町	高齢化率（推計 人口ベース）	40.0%	44.8%	51.4%	54.4%
	高齢化率（展望 人口ベース）	40.0%	44.8%	51.4%	54.0%
圏域合計	高齢化率（推計 人口ベース）	33.0%	36.0%	39.1%	42.2%
	高齢化率（展望 人口ベース）	33.0%	36.0%	38.6%	40.1%

令和 2 年以前：国勢調査

令和 12 年以降：推計人口；国立社会保障・人口問題研究所「日本の市区町村別将来推計人口」（令和 5 年 12 月推計）

展望人口；各市町人口ビジョン

6 定住自立圏共生ビジョンの期間

本共生ビジョンの期間は、令和 8 年度から令和 12 年度までの 5 年間とし、毎年度所要の変更を行うものとします。

7 定住自立圏形成協定に基づき推進する具体的取組

「3 圏域の将来像」に記した本圏域の将来像の実現を図るため、「定住自立圏形成協定」に基づき、中心市と近隣町が推進していく具体的な取組内容について示します。

具体的取組内容の体系図



共生ビジョンに掲げる取組と関連する 「SDGsの17のゴール」	貧困	飢餓	健康と福祉	教育	ジェンダー	水とトイレ
	1 貧困をなくそう 	2 飢餓をゼロに 	3 すべての人に健康と福祉を 	4 質の高い教育をみんなに 	5 ジェンダー平等を実現しよう 	6 安全な水とトイレを世界中に 
◆「生活機能の強化」に係る政策分野						
救急医療体制充実化の取組			○			
在宅医療・介護の連携			○			
子育て支援の推進			○			
障がい者支援の推進			○			
圏域内の図書館の相互利用の促進				○		
圏域内農林水産物の販路拡大		○				
水産振興の取組		○				
いぐさ・畳表の活性化に関する取組						
企業誘致イベントの積極的な開催・参加						
産学官連携による若年層の就活支援	○			○		
リカレント教育等による多様な人材の育成・確保	○			○		
消費者行政の充実			○			
多文化共生社会の推進			○			
地域防災力の強化			○			
広域的なごみ減量化の取組						
◆「結びつきやネットワークの強化」に係る政策分野						
地域公共交通の確保・維持の取組			○			
圏域を結ぶ幹線道路整備の促進						
イベント（物産展等）への相互出展の取組						
移住促進に向けた取組						
結婚支援に関する取組						
圏域情報の発信に関する取組						
地域資源を活用した魅力発信						
◆「圏域マネジメント能力の強化」に係る政策分野						
外部人材等活用の取組				○		
I C T利活用の共同研究				○		

エネルギー	働きがい 経済成長	産業 技術革新	不平等	まちづくり	つくる責任 つかう責任	気候変動	海の豊かさ	陸の豊かさ	平和と 公正	パートナー シップ
7 エネルギーをみんなに そしてクリーンに	8 働きがいも 経済成長も	9 産業と技術革新の 基盤をつくろう	10 人や国の不平等 をなくそう	11 住み続けられる まちづくりを	12 つくる責任 つかう責任	13 気候変動に 具体的な対策を	14 海の豊かさを 守ろう	15 陸の豊かさも 守ろう	16 平和と公正を すべての人に	17 パートナリシップで 目標を達成しよう
										
				○						○
				○						○
	○			○						○
	○		○	○						○
				○						○
	○			○				○		○
	○			○			○			○
	○	○		○				○		○
	○	○		○						○
	○	○		○						○
				○					○	○
			○	○					○	○
				○						○
				○	○	○	○			○
				○						○
		○		○						○
	○			○	○		○	○		○
				○						○
				○						○
				○						○
	○			○			○	○		○
		○		○						○
		○		○						○

(1) 生活機能の強化にかかる政策分野

ア 医療

取組事項	地域医療体制の充実等
協定に規定する取組の内容	地域医療体制の充実等を図る。

具体的取組名	No.1 救急医療体制充実化の取組					
関係市町	【甲】八代市			【乙】氷川町、芦北町		
取組の概要	八代市医師会及び八代郡市医師会への業務委託により、休日及び夜間における初期救急医療を提供するとともに、二次救急医療圏の医療機関が実施する病院群輪番制病院運営事業に対し補助を行い、圏域の住民の救急医療を確保する。また、妊産婦及び新生児の安全を確保するための体制を維持・強化することは3市町の共通課題であることから、状況に応じて情報の共有を図り、圏域における周産期医療提供体制の充実を図る。					
役割分担	甲の役割	関係機関に業務を委託し、事業を実施するとともに、運営費を補助する。また、周産期医療提供体制の情報の共有を図る。				
	乙の役割	・（氷川町）関係機関に業務を委託し、事業を実施するとともに、運営費を補助する。また、周産期医療提供体制の情報の共有を図る。 ・（芦北町）周産期医療提供体制の情報の共有を図る。				
成果指標 (KPI)				現状値 (R6)	目標値 (R12)	
休日在宅医医療機関延べ数（機関）※1				307	290※2	
事業費の見込 (千円)	R8	R9	R10	R11	R12	計
	17,809	17,809	17,809	17,809	17,809	89,045
	八代市	14,437	14,437	14,437	14,437	72,185
	氷川町	3,372	3,372	3,372	3,372	16,860
	芦北町	0	0	0	0	0
活用を想定する補助金等		なし				
関連するSDGs		3すべての人に健康と福祉を 11住み続けられるまちづくりを 17パートナーシップで目標を達成しよう				

※1 日曜日、祝日・年末年始に休日当番医として開設した医療機関数より算出する。

※2 目標値（R12）は、開設を確保したい医療機関数

具体的取組名	No.2 在宅医療・介護の連携					
関係市町	【甲】八代市			【乙】氷川町		
取組の概要	高齢者が住み慣れた地域で安心して暮らすための支援として、医療や介護の関係者が連携し高齢者を支える体制を充実させる。					
役割分担	甲の役割	市役所高齢者支援課内に八代地域在宅医療・介護連携支援センターを設置。職員を配置し各種事業に取り組む。				
	乙の役割	八代地域在宅医療・介護連携支援センター（八代市役所）に職員を派遣し、各種事業に取り組む。				
成果指標 (KPI)				現状値 (R6)	目標値 (R12)	
八代地域医療・介護多職種連携研修会の満足度（％）				100	100	
事業費の見込 (千円)	R8	R9	R10	R11	R12	計
	2,500	2,500	2,500	2,500	2,500	12,500
	八代市	2,080	2,080	2,080	2,080	10,400
	氷川町	420	420	420	420	2,100
	芦北町	－	－	－	－	－
活用を想定する補助金等		なし				
関連するSDGs		  				

イ 福祉

取組事項	子育て支援の推進と高齢者等に対する支援の充実等
協定に規定する取組の内容	子育て支援の推進と高齢者や障がい者への支援の充実等を図るため、圏域内外の関係機関との連携を図る。

具体的取組名	No.3 子育て支援の推進						
関係市町	【甲】 八代市			【乙】 氷川町、 芦北町			
取組の概要	病児・病後児保育事業やファミリーサポートセンター事業の相互利用により、保護者の子育てと就労の両立支援及び児童の健全育成を推進し、圏域全体で、子育て支援を推進する。						
役割分担	甲の役割	乙と連携し、事業の充実を図るとともに、相互利用を促進する。					
	乙の役割	・（氷川町）甲と連携し、事業の充実を図るとともに、相互利用を促進する。 ・（芦北町）病児・病後児保育事業の実施に向けて、情報の共有を図る。					
成果指標 (KPI)				現状値 (R6)	目標値 (R12)		
〈病児・病後児保育事業〉事前登録者数（人）				586	620		
〈ファミリー・サポート事業〉登録会員数（人）				447	460		
事業費の見込 (千円)	R8	R9	R10	R11	R12	計	
	50,937	52,837	54,837	56,837	58,837	274,285	
	八代市	37,444	38,444	39,444	40,444	41,444	197,220
	氷川町	13,493	14,393	15,393	16,393	17,393	77,065
	芦北町	0	0	0	0	0	0
	活用を想定する補助金等		子ども・子育て支援交付金、病児保育事業補助金 子育て援助活動支援事業補助金				
関連するSDGs		3すべての人に健康と福祉を 8働きがいも経済成長も 11住み続けられるまちづくりを 17パートナーシップで目標を達成しよう					

具体的取組名	No.4 障がい者支援の推進					
関係市町	【甲】 八代市			【乙】 氷川町		
取組の概要	基幹相談支援センターや障がい者相談支援事業所が、障がい児・者からの相談に対応し、必要な情報を提供する。 また、支援専門員が保育所等を巡回し、支援者へのサポートを通して支援の質を高める。 これらの取組により、圏域全体で、障がい児・者やその家族への支援の充実を図る。					
役割分担	甲の役割	乙と連携し、事業の利用を促進する。				
	乙の役割	甲と連携し、事業の利用を促進する。				
成果指標 (KPI)				現状値 (R6)	目標値 (R12)	
相談支援利用登録者数（人）				506	560	
巡回相談等で支援をした保育園・幼稚園等の割合（％）				95.8	100	
事業費の見込 (千円)	R8	R9	R10	R11	R12	計
	48,928	48,928	48,928	48,928	48,928	244,640
	八代市	40,102	40,102	40,102	40,102	200,510
	氷川町	8,826	8,826	8,826	8,826	44,130
	芦北町	-	-	-	-	-
活用を想定する補助金等		<地域生活支援事業（基幹相談支援センター事業）> 地域生活支援事業補助金（基幹相談支援センター事業） <巡回支援専門員整備事業> 地域障害児支援体制強化事業補助金（巡回支援専門員整備事業）				
関連するSDGs		3すべての人に健康と福祉を 8働きがいも経済成長も 10人々の平等を 11住み続けられるまちづくりを 17パートナーシップで目標を達成しよう				

ウ 教育

取組事項	学校教育、子どもの健全育成とスポーツ・文化活動等への支援の充実等
協定に規定する取組の内容	家庭や地域と連携し、学校教育の充実と子どもの健全な育成を図るとともに、スポーツ・文化活動等の支援の充実等を図る。

具体的取組名	No.5 圏域内の図書館の相互利用の促進						
関係市町	【甲】 八代市			【乙】 氷川町、 芦北町			
取組の概要	圏域住民がそれぞれの図書館を相互に利用する体制はすでに整備しており、相互利用についての周知をさらに進め、相互利用登録者の延べ利用人数の増加に努める。 また、八代市で整備している電子図書館についても利用可能であることを周知し、利便性の向上に圏域全体で取り組む。						
役割分担	甲の役割	乙と連携し図書館の相互利用を推進するほか、電子図書館の取組を推進し、圏域全体で利用可能であることの周知啓発を実施する。					
	乙の役割	甲と連携し図書館の相互利用を推進するほか、甲により整備する電子図書館の利用について、周知啓発する。					
成果指標 (KPI)				現状値 (R6)		目標値 (R12)	
相互利用登録者の延べ利用人数（人）				3,872		5,000	
事業費の見込 (千円)	R8	R9	R10	R11	R12	計	
	57,708	57,708	57,708	57,708	57,708	288,540	
	八代市	38,078	38,078	38,078	38,078	190,390	
	氷川町	9,142	9,142	9,142	9,142	45,710	
	芦北町	10,488	10,488	10,488	10,488	52,440	
活用を想定する補助金等		なし					
関連するSDGs		4 質の高い教育を みんなに 11 住み続けられる まちづくりを 17 パートナリシップで 目標を達成しよう					

エ 産業振興

取組事項	圏域内の産業の振興等
協定に規定する取組の内容	くまもと県南フードバレー構想の推進及び八代港利用の促進等により、農林水産業の振興や商工業の振興、雇用の創出等を図るために、各種事業等を行う。

具体的取組名	No.6 圏域内農林水産物の販路拡大					
関係市町	【甲】八代市			【乙】氷川町、芦北町		
取組の概要	圏域内の食関連事業者を対象とした商談会・交流会を継続開催することで、事業者間のネットワークを広げ、新たなチャレンジに向けた機運の醸成を図り、国内外の販路拡大に繋げる。 また、海外での新たなビジネスチャンスを創出し、知名度の向上を図るため、晩白柚をはじめとした圏域内の農林水産物の輸出を促進する。					
役割分担	甲の役割	関係機関及び民間事業者等と連携し、国内外の販路開拓に取り組む。				
	乙の役割	甲と協力し事業を推進する。				
成果指標 (KPI)				現状値 (R6)	目標値 (R12)	
商談件数（件）				150	250	
事業費の見込 (千円)	R8	R9	R10	R11	R12	計
	18,123	18,123	18,123	18,123	18,123	90,615
八代市	16,883	16,883	16,883	16,883	16,883	84,415
氷川町	1,240	1,240	1,240	1,240	1,240	6,200
芦北町	0	0	0	0	0	0
活用を想定する補助金等		地域未来交付金（地域未来推進型）				
関連するSDGs	2 飢餓をゼロに 8 働きがいも経済成長も 11 住み続けられるまちづくりを 15 陸の豊かさも守ろう 17 パートナリシップで目標を達成しよう					

具体的取組名	No.7 水産振興の取組					
関係市町	【甲】八代市			【乙】氷川町、芦北町		
取組の概要	つくり育てる栽培漁業を推進するために実施する、稚魚及び稚エビ等の広域での放流に際し、市町間で情報を共有し、漁獲量の向上と漁業従事者の経営安定を図る。					
役割分担	甲の役割	市町間の広域的な放流計画に関する情報提供を行う。				
	乙の役割	中心市と連携して事業に取り組む。				
成果指標 (KPI)				現状値 (R5)	目標値 (R12)	
漁獲量（トン）				304	315	
事業費の見込 (千円)	R8	R9	R10	R11	R12	計
	13,588	13,588	13,588	13,588	13,588	67,940
	八代市	10,034	10,034	10,034	10,034	50,170
	氷川町	361	361	361	361	1,805
	芦北町	3,193	3,193	3,193	3,193	15,965
活用を想定する補助金等		なし				
関連するSDGs	2 飢餓をゼロに 8 働きがいも経済成長も 11 住み続けられるまちづくりを 14 海の豊かさを守ろう 17 パートナリシップで目標を達成しよう					

具体的取組名	No.8 いぐさ・畳表の活性化に関する取組					
関係市町	【甲】八代市			【乙】氷川町		
取組の概要	いぐさ・畳表関係機関の協調を図り、生産・流通・販売に関する事業を集約的に実施し、いぐさ・畳表産地の活性化と安定的振興を図る。					
役割分担	甲の役割	いぐさ・畳表の関係機関、団体相互の協働を図り事業を推進する。				
	乙の役割	中心市と協力し事業を推進する。				
成果指標 (KPI)				現状値 (R6)	目標値 (R12)	
情報提供システム（QRコード付タグ※）加入率（％）				89	95	
事業費の見込 (千円)	R8	R9	R10	R11	R12	計
	6,890	6,890	6,890	6,890	6,890	34,450
	八代市	5,701	5,701	5,701	5,701	28,505
	氷川町	1,189	1,189	1,189	1,189	5,945
	芦北町	－	－	－	－	－
活用を想定する補助金等		なし				
関連するSDGs		9産業と雇用革新の振興をつくらう 11住み続けられるまちづくりを 15陸の豊かさも守ろう 17パートナーシップで目標を達成しよう				

※QRコード付きタグ：外国産との区別化や県産畳表の情報開示のために、県産畳表に挿入しているQRコード付きのタグ。QRコードを読み込むと、熊本県いぐさ・畳表活性化連絡協議会のHPが開き、生産者番号などを入力すると生産者のHPへ飛び、畳表生産者の想いや生産状況等がわかる仕組みとなっている。

具体的取組名	No.9 企業誘致イベントの積極的な開催・参加					
関係市町	【甲】八代市			【乙】氷川町、芦北町		
取組の概要	3市町で企業誘致関係のイベントを開催し、圏域の魅力を発信する機会を増やすことで、潜在的な進出の需要を持つ企業へアプローチする。また、県内の企業誘致イベントへ合同で参加し、積極的なPRを行うことで、ターゲット層へ効率よくアプローチし、圏域内への進出数の増加を狙う。					
役割分担	甲の役割	乙及び関係機関と連携し、企業誘致イベントの開催・参加を行う。				
	乙の役割	甲及び関係機関と連携し、企業誘致イベントの開催・参加を行う。				
成果指標 (KPI)				現状値 (R6)	目標値 (R12)	
連携して取り組んだ企業誘致イベントの件数（件・累計）				1	10	
事業費の見込 (千円)	R8	R9	R10	R11	R12	計
	5,905	5,905	5,905	5,905	5,905	29,525
	八代市	3,065	3,065	3,065	3,065	15,325
	氷川町	140	140	140	140	700
	芦北町	2,700	2,700	2,700	2,700	13,500
活用を想定する補助金等		熊本県県南地域進出候補先視察推進補助金				
関連するSDGs		8 働きがいも 経済成長も  9 産業と技術革新の 基盤をつくろう  11 住み続けられる まちづくりを  17 パートナーシップで 目標を達成しよう 				

具体的取組名	No.10 産学官連携による若年層の就活支援					
関係市町	【甲】八代市			【乙】氷川町、芦北町		
取組の概要	地元での就職を希望する学生や若者等に対し、インターンシップ受け入れ企業の掘り起こしや企業情報の発信、学校と企業が交流できる場の創出など、産学官が連携して若年層を対象に圏域内の地場企業を知る機会を提供することで、圏域企業の人材や雇用の確保を推進する。					
役割分担	甲の役割	乙及び関係機関と連携し、若年層の就活支援に係る取組の調整・推進を図る。				
	乙の役割	甲及び関係機関と連携し、若年層の就活支援に係る取組の調整・推進を図る。				
成果指標 (KPI)				現状値 (R6)	目標値 (R12)	
産学官が連携して実施している事業数（事業・累計）				8	40	
事業費の見込 (千円)	R8	R9	R10	R11	R12	計
	1,329	1,329	1,329	1,329	1,329	6,645
	八代市	1,319	1,319	1,319	1,319	6,595
	氷川町	10	10	10	10	50
	芦北町	0	0	0	0	0
活用を想定する補助金等		なし				
関連するSDGs	1 貧困をなくそう  4 質の高い教育をみんなに  8 働きがいも経済成長も  9 産業と技術革新の基盤をつくろう  11 住み続けられるまちづくりを  17 パートナーシップで目標を達成しよう 					

具体的取組名	No.11 リカレント教育等による多様な人材の育成・確保					
関係市町	【甲】 八代市			【乙】 氷川町、 芦北町		
取組の概要	ライフスタイルの変化やライフステージに応じた多様な生き方や働き方が求められる中、新しいスキル取得やスキルアップできる機会を提供することで、再就職やキャリアアップの後押しを図り、圏域内で多様な働き手の育成と人材確保を図る。					
役割分担	甲の役割	中心市としてリカレント教育等による人材育成に向けた各種事業の周知と支援を積極的に取り組む。				
	乙の役割	リカレント教育等による人材育成に向けた各種事業の周知と支援に取り組む。				
成果指標 (KPI)				現状値 (R6)	目標値 (R12)	
人材育成に係る事業の参加者数（人・累計）				20	100	
事業費の見込 (千円)	R8	R9	R10	R11	R12	計
	600	600	600	600	600	3,000
	八代市	300	300	300	300	1,500
	氷川町	300	300	300	300	1,500
	芦北町	0	0	0	0	0
活用を想定する補助金等		なし				
関連するSDGs	1貧困をなくそう  4質の高い教育をみんなに  8働きがいも経済成長も  9産業と技術革新の基盤をつくろう  11住み続けられるまちづくりを  17パートナーシップで目標を達成しよう 					

オ その他

取組事項	住民生活に関係する施設等の連携等
協定に規定する取組の内容	圏域内の住民の生活に関係する体制の強化や施設等の連携を図る。

具体的取組名	No.12 消費者行政の充実					
関係市町	【甲】八代市			【乙】氷川町、芦北町		
取組の概要	八代市消費生活センターが実施する相談業務及び八代市が実施する消費生活出前講座を、氷川町及び芦北町の住民も利用できるようにしているほか、氷川町、芦北町で八代市消費生活相談員による定期相談を実施する。 また、市町で実施する弁護士等の専門相談は、相互利用を継続する。					
役割分担	甲の役割	八代市消費生活センターの事業を推進する。				
	乙の役割	事業の周知、啓発を進め、圏域内での利活用を推進する。				
成果指標 (KPI)				現状値 (R6)	目標値 (R12)	
消費者トラブル被害回復率（％）				23	25	
事業費の見込 (千円)	R8	R9	R10	R11	R12	計
	14,829	14,829	14,829	14,829	14,829	74,145
	八代市	12,035	12,035	12,035	12,035	60,175
	氷川町	936	936	936	936	4,680
	芦北町	1,858	1,858	1,858	1,858	9,290
活用を想定する補助金等		熊本県消費者行政強化事業補助金				
関連するSDGs		3 すべての人に健康と福祉を 11 住み続けられるまちづくりを 16 平和と公正をすべての人に 17 パートナーシップで目標を達成しよう				

具体的取組名	No.13 多文化共生社会の推進					
関係市町	【甲】 八代市			【乙】 氷川町、 芦北町		
取組の概要	外国人住民の日本語学習や日本人住民の外国語学習の機会提供、交流イベントの開催など、双方が交流できる場を創出することで、相互理解を深め、共に住みやすいまちづくりを推進する。					
役割分担	甲の役割	外国人が日本語を学べる機会や、日本人住民が外国語を学べる機会など、双方が交流できるイベント等を実施する。 住民に対し、当該イベント等の情報提供、参加者募集を行う。				
	乙の役割	外国人が日本語を学べる機会や、日本人住民が外国語を学べる機会など、双方が交流できるイベント等を実施する。 住民に対し、当該イベント等の情報提供、参加者募集を行う。				
成果指標 (KPI)				現状値 (R6)	目標値 (R12)	
交流イベント参加者数（人）				1,884	2,600	
事業費の見込 (千円)	R8	R9	R10	R11	R12	計
	1,150	1,150	1,150	1,150	1,150	5,750
	八代市	600	600	600	600	3,000
	氷川町	0	0	0	0	0
	芦北町	550	550	550	550	2,750
活用を想定する補助金等		なし				
関連するSDGs	3 すべての人に健康と福祉を  10 人や国の不平等をなくそう  11 住み続けられるまちづくりを  16 平和と公正をすべての人に  17 パートナーシップで目標を達成しよう 					

具体的取組名	No.14 地域防災力の強化					
関係市町	【甲】 八代市			【乙】 氷川町、芦北町		
取組の概要	大規模災害時等における相互応援体制を含めた圏域内の防災体制の構築を図るため、圏域住民の広域避難に向けた具体的な検討や、避難所環境の向上に資する広域的な備蓄体制の整備のほか、自主防災組織の活性化及び圏域市町で実施される各種防災訓練への参加等を行う。					
役割分担	甲の役割	相互補完を目的とした広域的な防災体制の構築				
	乙の役割	相互補完を目的とした広域的な防災体制の構築				
成果指標 (KPI)				現状値 (R6)	目標値 (R12)	
圏域合同の取組数（回・累計）				1	6	
事業費の見込 (千円)	R8	R9	R10	R11	R12	計
	8,500	10,500	12,000	10,500	10,500	52,000
	八代市	3,500	5,500	7,000	5,500	27,000
	氷川町	2,000	2,000	2,000	2,000	10,000
	芦北町	3,000	3,000	3,000	3,000	15,000
活用を想定する補助金等		地域未来交付金（地域防災緊急整備型） 球磨川水系防災・減災ソフト対策等補助金 等				
関連するSDGs		3すべての人に健康と福祉を 11住み続けられるまちづくりを 17パートナーシップで目標を達成しよう				

具体的取組名	No.15 広域的なごみ減量化の取組					
関係市町	【甲】 八代市			【乙】 氷川町、 芦北町		
取組の概要	ごみ減量化に向けた取組「3Rの促進」と「食品ロス削減」に関する事業について、事業の周知や啓発面で相互連携を図る。 ・生ごみ堆肥化容器等設置助成金制度（八代市・氷川町・芦北町） ・夏休みこども教室（八代市・氷川町） ・エコエイトやつしる環境フェスタ（八代市） ・環境学習講師派遣（八代市）					
役割分担	甲の役割	八代市の「ごみ減量化対策事業」を推進する。				
	乙の役割	事業の周知、啓発を行い、圏域内でのごみ減量化を進める。				
成果指標 (KPI)				現状値 (R6)	目標値 (R12)	
燃えるごみの焼却量（トン）				35,875	33,776	
事業費の見込 (千円)	R8	R9	R10	R11	R12	計
	5,740	5,740	5,740	5,740	5,740	28,700
	八代市	4,300	4,300	4,300	4,300	21,500
	氷川町	1,200	1,200	1,200	1,200	6,000
	芦北町	240	240	240	240	1,200
活用を想定する補助金等		なし				
関連するSDGs		 11 住み続けられるまちづくりを  12 つくる責任 つかう責任  13 気候変動に具体的な対策を  14 海の豊かさを守ろう  17 パートナリシップで目標を達成しよう				

(2) 結びつきやネットワークの強化にかかる政策分野

ア 地域公共交通

取組事項	便利で快適な公共交通の構築
協定に規定する取組の内容	圏域内における便利で快適な公共交通の構築等を図る。

具体的取組名	No.16 地域公共交通の確保・維持の取組					
関係市町	【甲】八代市			【乙】氷川町、芦北町		
取組の概要	圏域人口の減少やマイカーの普及等により公共交通利用者は年々減少し、事業者の経営は厳しい状況にあるが、地域間をつなぐバス路線（宮原線・田浦線・種山線・松橋線（国道及び県道経由））は圏域住民の日常生活を支える交通手段であるため、その維持に努め、利用者の利便性の確保を図る。					
役割分担	甲の役割	乙及び関係機関と連携し、路線維持に向け、地域の実情に応じた交通サービスの提供に努める。				
	乙の役割	甲及び関係機関と連携し、路線維持に向け、地域の実情に応じた交通サービスの提供に努める。				
成果指標 (KPI)				現状値 (R6)	目標値 (R12)	
地域間バス路線の平均利用回数（回）				1.38	1.50	
事業費の見込 (千円)	R8	R9	R10	R11	R12	計
	151,850	151,850	151,850	151,850	151,850	759,250
	八代市	124,953	124,953	124,953	124,953	624,765
	氷川町	24,024	24,024	24,024	24,024	120,120
	芦北町	2,873	2,873	2,873	2,873	14,365
活用を想定する補助金等		熊本県生活交通維持・活性化総合交付金				
関連するSDGs		3 すべての人に健康と福祉を 11 住み続けられるまちづくりを 17 パートナーシップで目標を達成しよう				

イ 道路等の交通インフラの整備

取組事項	主要幹線道路及び圏域内を結ぶ道路の整備促進等
協定に規定する取組の内容	主要幹線道路及び圏域内を結ぶ道路の整備促進等を図る。

具体的取組名	No.17 圏域を結ぶ幹線道路整備の促進					
関係市町	【甲】 八代市			【乙】 芦北町、氷川町		
取組の概要	圏域内の幹線道路（一般県道氷川八代線、一般県道二見田浦線、一般県道球磨田浦線）を整備し、ネットワークの強化を図る。					
役割分担	甲の役割	熊本県及び地元関係者と協力し、事業推進を図る。				
	乙の役割	熊本県及び地元関係者と協力し、事業推進を図る。				
成果指標 (KPI)				現状値 (R6)	目標値 (R12)	
二見田浦線の改良率（％）				92	95	
球磨田浦線の改良率（％）				76	100	
氷川八代線の改良率（％）				64	67	
事業費の見込 (千円)	R8	R9	R10	R11	R12	計
	4,500	4,500	4,500	4,500	4,500	22,500
	八代市	3,000	3,000	3,000	3,000	15,000
	氷川町	1,500	1,500	1,500	1,500	7,500
	芦北町	0	0	0	0	0
活用を想定する補助金等		なし				
関連するSDGs		9産業と技術革新の基盤をつくろう 11住み続けられるまちづくりを 17パートナーシップで目標を達成しよう				

ウ 地産地消の推進

取組事項	地域の生産者や消費者等の地域連携による地産地消
協定に規定する取組の内容	くまもと県南フードバレー構想の促進と学校給食等への地元食材導入など地産地消の拡大等を図る。

具体的取組名	No.18 イベント（物産展等）への相互出展の取組					
関係市町	【甲】八代市			【乙】氷川町、芦北町		
取組の概要	圏域内の各市町で実施しているイベント（物産展など）に、圏域内の他市町の事業者や生産者、自治体などが参加できるような仕組みをつくる。 相互出展により、圏域全体の地産地消を推進する。					
役割分担	甲の役割	乙と連携し、イベントへの相互出展を推進する。				
	乙の役割	甲と連携し、イベントへの相互出展を推進する。				
成果指標 (KPI)				現状値 (R6)	目標値 (R12)	
圏域内の各市町主催イベント（物産展）への相互出展回数 (回)				0	3	
事業費の見込 (千円)	R8	R9	R10	R11	R12	計
	11,460	11,460	11,460	11,460	11,460	57,300
	八代市	3,100	3,100	3,100	3,100	15,500
	氷川町	7,000	7,000	7,000	7,000	35,000
	芦北町	1,360	1,360	1,360	1,360	6,800
活用を想定する補助金等		地域未来交付金（地域未来推進型）				
関連するSDGs	8 働きがいも経済成長も 11 住み続けられるまちづくりを 12 つくる責任つかう責任 14 海の豊かさを守ろう 15 陸の豊かさも守ろう 17 パートナリシップで目標を達成しよう					

エ 交流・移住促進

取組事項	地域内外の住民との交流・移住促進
協定に規定する取組の内容	都市圏における地域のPR等や地域資源を活かしたツーリズム等で交流人口の拡大を図る。

具体的取組名	No.19 移住促進に向けた取組					
関係市町	【甲】 八代市			【乙】 氷川町、芦北町		
取組の概要	大都市で開催される移住相談会やオンライン相談会に共同で参加し、移住定住支援情報を圏域の魅力と併せて情報発信する。また、移住体験住宅での生活体験や地域資源を活かしたサイクルツーリズム等、圏域の魅力を実際に体験できる機会を提供する。 これらの取組により、関係人口の創出を図り、移住定住を促進する。					
役割分担	甲の役割	乙と連携して、情報の集約、発信及び移住促進に向けた取組を検討する。				
	乙の役割	甲と連携して、情報の集約、発信及び移住促進に向けた取組を検討する。				
成果指標 (KPI)				現状値 (R6)	目標値 (R12)	
移住者数（人）				129	157	
移住相談会相談者数（人）				111	134	
事業費の見込 (千円)	R8	R9	R10	R11	R12	計
	2,543	2,543	2,543	2,543	2,543	12,715
	八代市	662	662	662	662	3,310
	氷川町	1,089	1,089	1,089	1,089	5,445
	芦北町	792	792	792	792	3,960
活用を想定する補助金等		なし				
関連するSDGs		11 住み続けられるまちづくりを 17 パートナーシップで目標を達成しよう				

具体的取組名	No.20 結婚支援に関する取組					
関係市町	【甲】八代市			【乙】氷川町、芦北町		
取組の概要	出会いの場を創出し、自分にあった結婚相手を見つける機会の提供だけでなく、結婚を望む方の相談対応からマッチング支援まで、結婚に関する一体的な支援を行うことができる結婚サポートセンター事業に取り組む。また、地域資源を活用したイベント等の取組も行い、定住へのきっかけづくりを行う。					
役割分担	甲の役割	乙と連携し、出会いの場の創出を行うなどの取組を推進する。				
	乙の役割	甲と連携し、出会いの場の創出を行うなどの取組を推進する。				
成果指標 (KPI)				現状値 (R6)	目標値 (R12)	
結婚サポートセンターにおけるカップル成立数 (組・累計)				0 ※R7開設	160	
事業費の見込 (千円)	R8	R9	R10	R11	R12	計
	10,000	10,000	10,000	10,000	10,000	50,000
	八代市	6,690	6,690	6,690	6,690	33,450
	氷川町	1,580	1,580	1,580	1,580	7,900
	芦北町	1,730	1,730	1,730	1,730	8,650
活用を想定する補助金等		地域少子化対策重点推進交付金				
関連するSDGs		 11 住み続けられるまちづくりを  17 パートナリーシップで目標を達成しよう				

具体的取組名	No.21 圏域情報の発信に関する取組					
関係市町	【甲】八代市			【乙】氷川町、芦北町		
取組の概要	八代市、氷川町、芦北町の各広報媒体にイベント等の記事を相互掲載し、交流人口拡大のPR材料として有効に活用するとともに、圏域住民に対する定住自立圏の認知度向上を図る。					
役割分担	甲の役割	乙と連携し、広報紙等を活用し、圏域のイベント等の情報を発信する。				
	乙の役割	甲と連携し、圏域のイベント等の情報を発信する。				
成果指標 (KPI)				現状値 (R6)		目標値 (R12)
広報紙掲載回数（回）				36		36
事業費の見込 (千円)	R8	R9	R10	R11	R12	計
	569	569	569	569	569	2,845
	八代市	442	442	442	442	2,210
	氷川町	33	33	33	33	165
	芦北町	94	94	94	94	470
活用を想定する補助金等		なし				
関連するSDGs		 11 住み続けられるまちづくりを  17 パートナリシップで目標を達成しよう				

オ 観光ネットワークの連携・強化

取組事項	観光ネットワークの連携・強化等
協定に規定する取組の内容	圏域内の観光情報等を共有し、圏域の魅力を圏域内外に発信するなど、観光ネットワークの連携・強化等を図る。

具体的取組名	No.22 地域資源を活用した魅力発信					
関係市町	【甲】八代市			【乙】氷川町、芦北町		
取組の概要	歴史や文化、自然、特産品・グルメをはじめとした各市町の観光素材を有機的に結び付け、圏域内での周遊を促進させるとともに、滞在時間の延長による観光消費額増加など地域経済の活性化に繋げるために、各市町の観光情報や各市町の地域資源を組み合わせた観光ルートなどを相互に情報発信する。					
役割分担	甲の役割	乙及び関係機関と連携し、魅力発信に取り組む。				
	乙の役割	甲及び関係機関と連携し、魅力発信に取り組む。				
成果指標 (KPI)				現状値 (R6)	目標値 (R12)	
ホームページ等アクセス件数（件）				288,021	305,302	
事業費の見込 (千円)	R8	R9	R10	R11	R12	計
	8,116	8,116	8,116	8,116	8,116	40,580
	八代市	4,005	4,005	4,005	4,005	20,025
	氷川町	2,612	2,612	2,612	2,612	13,060
	芦北町	1,499	1,499	1,499	1,499	7,495
活用を想定する補助金等		なし				
関連するSDGs		8 成長を促す経済成長も 11 住み続けられるまちづくりを 14 海の豊かさを守ろう 15 陸の豊かさも守ろう 17 パートナリシップで目標を達成しよう				

(3) 圏域マネジメント能力の強化にかかる政策分野

ア 中心市等における外部からの行政及び民間人の確保

取組事項	国や県、民間人の確保と交流人事等
協定に規定する取組の内容	国や県、民間人の確保と交流人事等を図り、人材育成等を図る。

具体的取組名	No.23 外部人材等活用の取組					
関係市町	【甲】 八代市			【乙】 氷川町、 芦北町		
取組の概要	外部の意欲ある人材を積極的に受け入れることによる新たな視点や発想により、圏域に新たな価値を創造し、魅力ある地域づくりに向けた連携や、情報共有を図る。					
役割分担	甲の役割	甲は乙と連携し、外部人材の招聘や地域おこし協力隊などの民間人材の受入れに関し、情報共有を図る。				
	乙の役割	乙は甲と連携し、外部人材の招聘や地域おこし協力隊などの民間人材の受入れに関し、情報共有を図る。				
成果指標 (KPI)				現状値 (R6)	目標値 (R12)	
地域おこし協力隊等民間人材の配置数 (人)				17	23	
事業費の見込 (千円)	R8	R9	R10	R11	R12	計
	84,300	84,300	84,300	84,300	84,300	421,500
	八代市	29,490	29,490	29,490	29,490	147,450
	氷川町	5,900	5,900	5,900	5,900	29,500
	芦北町	48,910	48,910	48,910	48,910	244,550
活用を想定する補助金等		特別交付税（地域おこし協力隊、地域活性起業人分）				
関連するSDGs		4 質の高い教育をみんなに 9 産業と地域革新の基盤をつくろう 11 住み続けられるまちづくりを 17 パートナリシップで目標を達成しよう				

具体的取組名	No.24 I C T利活用の共同研究					
関係市町	【甲】八代市			【乙】氷川町、芦北町		
取組の概要	業務効率化を図るため、3市町で共通のツールを活用したシステム開発やDX等に関する情報共有を行う。さらに、すべての利用者がデジタル技術の恩恵を受けられるよう、デジタル格差の解消に取り組み、デジタル化の利点を地域全体で享受できる圏域を目指す。					
役割分担	甲の役割	甲は、ICTに関する情報の収集・提供や、デジタル格差の解消を目的とした教室等を開催し、ICT の利活用で圏域の活性化を図る。				
	乙の役割	乙は、デジタル格差の解消を目的とした教室等への参加者を募り、ICT の利活用で圏域の活性化を図る。				
成果指標 (KPI)				現状値 (R6)	目標値 (R12)	
ICT活用事業の実施数（回）				0	1	
スマートフォン教室等の開催数（回）				0	2	
事業費の見込 (千円)	R8	R9	R10	R11	R12	計
	1,996	1,996	1,996	1,996	1,996	9,980
	八代市	1,996	1,996	1,996	1,996	9,980
	氷川町	0	0	0	0	0
	芦北町	0	0	0	0	0
活用を想定する補助金等		なし				
関連するSDGs		4 質の高い教育を みんなに  9 産業と技術革新の 基盤をつくろう  11 住み続けられる まちづくりを  17 パートナーシップで 目標を達成しよう 				